



# The future of energy in Southeast Asia

上級エネルギー分析官 松村 亘

IEEJ エネルギーセミナー, 2019年10月28日(於: 日本エネルギー経済研究所)

## はじめに – エネルギー選択は不確実性の時代へ

---

- 再生可能エネルギー、電動車への期待感が、国際的に大きく上昇
- とりわけ太陽光、風力は産業分野として確立しつつあり、補助金なしでも国際的に導入が進む
- これを追い風に野心的な政府目標や、新技術の躍進を伝えるニュースが日々世界を巡るが、そのうちの何これが実現し、**全体として何処へ向かっているのか？**
  - 現実には、パリ協定に参加する各国とも諸目標を高く掲げる一方、足元政策による裏打ちは不十分
  - 市場では新技術、新ビジネスへの挑戦と失敗、漸進と停滞が混じり合う

## World Energy Outlook の役割

---

- 近年の状況からは、むしろ「長期見通しは不確実」、が持つべき基本認識
- 不確実な時代ほど、情報と分析力が必要
- World Energy Outlook (WEO) は将来を予測するための貴重なデータブック
  - 今までの見方が正しいのか、国際エネルギーの最新動向に照らして確認
  - 注目される革新的ニュースは、全体視点から真贋を見極め
- ただし、World Energy Outlook は将来像を“予測 (forecast) ”しない
- 今日の政策、技術の動向を前提に組み上げた、一シナリオに過ぎない。そして現在は、その“前提”が日々揺れ動く転換期（不確実性の時代）

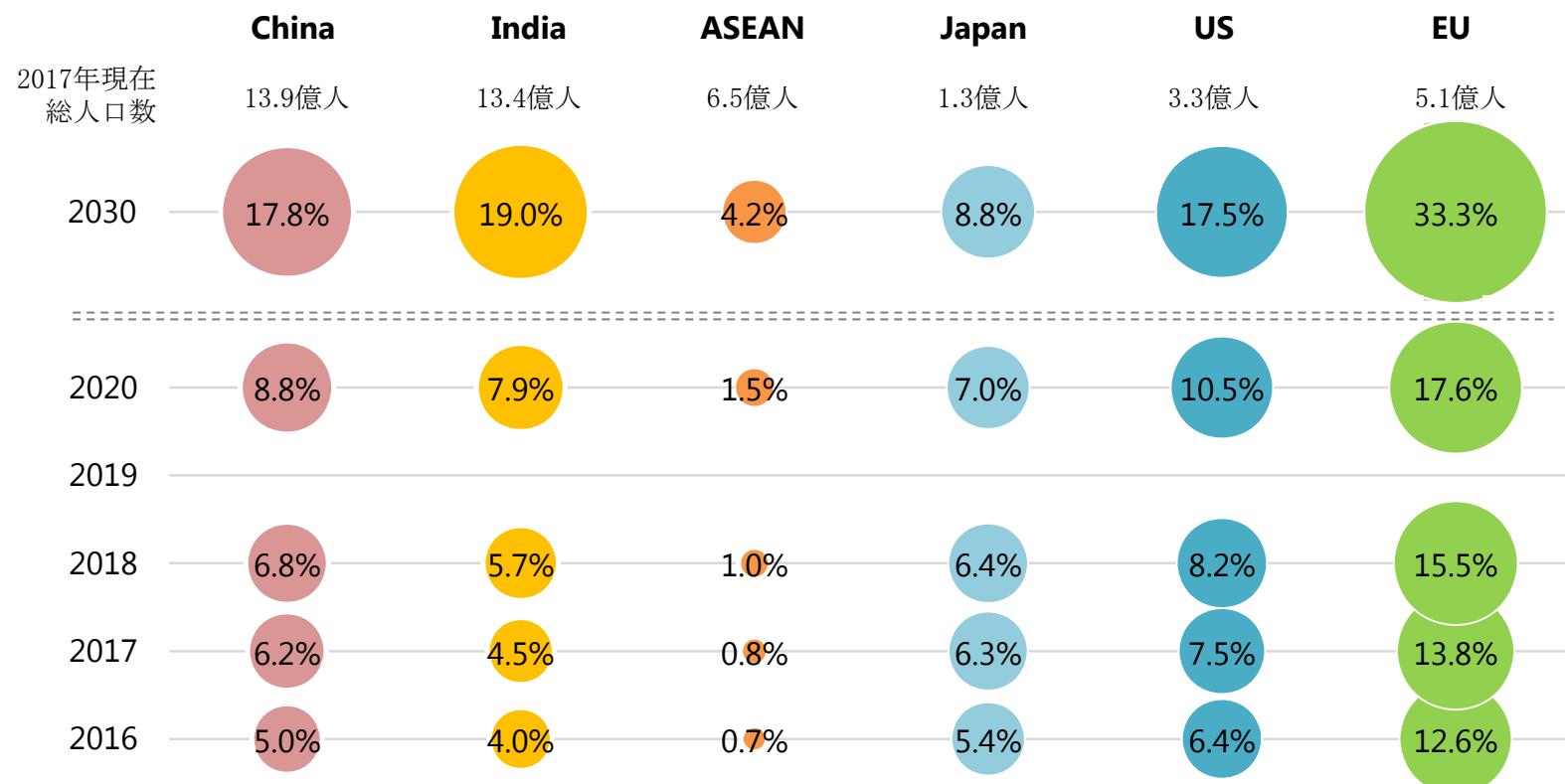
## 東南アジア(ASEAN) 特集の位置づけ

---

- 東南アジアの理解は、世界動向の理解に直結（新興国の課題は共通）
  - エネルギー需要が急増、しかしインフラは未成熟であり、投資資金は常に不足
  - 安定供給のため低コストなエネルギー源（化石燃料）に依存するが、他方でCO<sub>2</sub>排出、大気汚染などの環境問題が顕在化
  - 石油・ガス輸入量の膨張はエネルギー安全保障、貿易収支上の懸念点
  - コスト低下が著しい再生可能エネルギーの位置付け見直しが進む
  - エネルギー安全保障の文脈で、電動車をどう捉えるか？

## 各国総発電量における太陽光、風力発電のシェア

※WEO2018(昨年版)データを使用



**iea**